

木馬会会報 (第 1 3 6 号)

* 安田記念特集 *

00/06/02

～木馬達の予想～

本紙 ラッキー

◎…ウメノファイバー、スティンガー

△…イーグルカフェ、ブラックホーク、ディクタット

(ラッキー桑島の見解)

混戦模様の今年の安田記念であるが、本紙本命はウメノファイバーとする。長期休養明けの叩き2走目、斤量据え置き、前走不利有り、距離に関しては実績があり、コースに関してはこの上ない舞台である。府中の1400m～2000mでは無類の強さを誇る父サクラユタカオーの底力に賭けてみる。

相手本線は、名前の通り非常に危険だがスティンガーと心中する。前走あまりに嵌まりすぎたきらいもあり、2、3着知らずの勝つか負けるか一発娘、今回は斤量1kg増量、騎手は「あの武豊」から「あの勝春」に変更と不安な点も多いが、昨年の秋、4歳牝馬ながら毎日王冠、天皇賞と出走して並み居る強豪達と互角の戦いを繰り広げてきた経験が混戦で物を言う。岡部、武豊、横山が手放し「騎手のロシアンルーレット」で「当たり」となったのは不吉だが…。

連下には、イーグルカフェを一番手で狙う。古馬牡馬との4kg差のハンデは魅力である。ハナ差、アタマ差の接戦には無類の勝負強さを誇り、按上は岡部、敷居が高かったNHKマイルではライバル達が次々と脱落していった運がある。この強運に乗ってみる。

ブラックホークは完全にスプリンター化した今、府中のマイルはちと厳しいと感じるが、京王杯SCでは好位からそのまま2着に粘り込み、負けて強しの印象であった。今回斤量差も縮まり、あっさり逆転があっても不思議でない。

最後の1頭だが、これは悩む。プリンカーで復活した蛭名インディ、実は5歳牝馬で一番強いと思っているフサイチエアデール、寒い時期に気分良く走れば1200m～2000mまでは無敵のキングヘイロー、レース内容は無類の堅実派だが、出走自体がギャンブルのタイキブライドル、「母の父ハイセイコー」の文字が非常にきな臭いマイネルマックス等々何が来てもおかしくはない。

そこで、困った時の騎手頼みでディクタットを推奨する。ヤネはご存知「陽気な天才イタリアン」ランフランコ＝デットーリである。人気薄でも、実力不足でも勝たせなきゃ、伊達に欧州No.1とは呼ばれない。

今週の格言…府中のセンロク、センハチ気分

へなりん

やはりヒクソンは強かった。船木ならもしかしてと思っていたのだが、壁は厚く高かった。凄すぎる。こうなったら桜庭しかいない。船木の方が「強い」のかもしれないが、桜庭には「巧さ」がある。彼ならやってくれそうな気がする。"夢の対決"はいつだろう…。想像するだけで興奮してしまうなあ。火曜のスポーツ紙に大きく"ヒクソン"と出ていたので思わず買ってみたのだが、清原がヒクソンと対面しただけだった。がっかり。悩む清原にヒクソンが送った言葉「Strong Spirit, Strong Life」。なかなか良い言葉だ。清原、頑張れ。

さて今週の安田記念。「Strong Spirit, Super L.デットーリ」ということで、世界のデットーリが騎乗するディクタットを狙い打つ。日本の環境にも慣れた2戦目の今回は前走より間違いなく着順をあげてくる。デットーリなら複勝圏内は確実だろう。

もう一頭狙ってみたいのが4歳にて果敢に挑戦するイーグルカフェ。まさに今が旬であり、古馬の厳しい流れさえ克服できれば54キロの斤量なら十分に勝算ありとみる。

押さえはアドマイヤカイザー、スティンガー、ブラックホークの3頭。中でも注目はアドマイヤカイザー。安田記念から超一流への階段を駆け上がったあのバンブーメモリー的なイメージを抱かせる馬。狙うなら今回しかないかも。ダービー馬アグネスフライトに優るとも劣らない末脚は直線一気のごぼう抜きが十分考えられる。小柄ゆえ斤量泣きするかもしれないが魅力的な一頭だ。スティンガーは勝春が気分良く走らせられれば可能性はあるのだが果たして…。ブラックホークは残り1Fまでは先頭にいるのは間違いないが、そこからどれだけ我慢できるかだろう。

中京の愛知杯はエイダイクインで文句無し。いよいよ芦毛の季節である。

◎ディクタット、イーグルカフェ

△アドマイヤカイザー、スティンガー、ブラックホーク

～ライスシャワシャワの予想はよそう～

◎：ウメノファイバー、○：レッドチリペッパー、▲：ブラックホーク

△：ディクタット、シンボリインディ、スティンガー

いまさら言うまでも無いが、武だけが抜群にうまくて、他の騎手はそれなりと言う状況。2年続けてリーディングの蛭名も今年はイマイチ、岡部ははっきり衰えが伺える。リーディングを走っていた善臣は落馬負傷だし、典もなんだかなあ。

何が言いたいかというと、スティンガーが勝春に乗り替わる。京王杯では上がり33.6の鬼脚で差し切ったが、果たして同じ競馬が2度続けてできるものか。乗り替わりがどうのこうのという馬ではないだろうが、やはりマイナスは否めない。

本命はウメノファイバー。前走はJC以来で4着に敗れたが、勝ったスティンガーに劣らない上がり。東京は走るし、オックス馬とはいえ、マイルあたりの方が向いているのは確か。キレならこのメンバーに混じっても見劣りはしないので、あとは展開が向くことを祈る。

相手も同タイプのレッドチリペッパー。フェブラリーを使ったりしてるが、芝で一瞬の切れ味を生かしてこそその馬だと思う。フレグモーネで京王杯を使えなかったのは誤算だが、馬券的には逆に妙味有り。

3番手は、個人的に好きな馬のブラックホーク。マイル実績はありながら、G1・2となると足りなかったのも事実。安定感と言う点では、上記2頭より上だと思うが、1200、1400あたりがベストと見る。残り1Fどれだけ我慢できるかというレースだと思う。

以下、デットーリを呼んで勝負気配ありありのディクタット、復活の兆しが見えたシンボリインディ、京王杯圧勝のスティンガーまで。

前人未到のG1連勝街道の第一関門がこの安田記念だ。ここで当てこそ本紙復活への道が開けようというもの。

以前は毎年のように荒れていた安田記念だが、ここ五年は1番人気に連に絡んでほぼ順当に収まっている。その理由はマイル以上で断然に強い馬が1番人気に答えてきたことが第一だが、忘れてはいけないのが距離別レース体系が整備されて、マイルが得意な馬しか出走してこなくなったことである。たとえば、先週の金鯱賞に出走したメイショウドトウ、オウドウは安田記念に出てきても、そこそこの人気を集めただろう。それら中距離に適性があると考えられる馬が出てこなくなったので、マイル・スプリンターのスペシャリストが揃い、レベルが上がったのだと思う。だから、以前のように大荒れを望むのはちょっと無謀な気がする。

さて、1番人気が予想されるスティンガーだが、あまりに前走鮮やか過ぎて、かえって勘ぐってしまう。4歳以降の1600以上のレースと前走を見比べると、どうもあの脚はスプリンターの切れという気がしてならない。牡馬相手に善戦して来たのではなく、また、京都牝馬特別のやっとなったというレースっぷりは、1600以上では牝馬相手にやっとなつてというレベルなのではないか。それに追い討ちをかける武→勝春への乗り替わり。はっきり五馬身ディスアドバンテージである。

さて次に外国馬だが、2頭とも堅実で、今までの外国馬と比べても実績的に上位ではあろう。しかし、ディクタットは1600以上の経験がない。五年前に勝ったハートレイクは芝1600で勝っていたし、ダートの1600なら何度も走っていた。フェアリーも1600以上の経験は1度だけで、基本的にはスプリンターである。おとし2着のオリエンタルは2000mでも勝っていた。と言うことで、今年の外国馬は軸にはできない。

それでは消去法で軸馬を探していこう。イーグルは前走、太が言っていたとおりの仕上げ。疲れが見られないからといってもそれは表面的なもので、ここ目標にしてきた古馬相手では厳しいだろう。ウメノは輸送に弱い馬で、中2週というのは初めてだし大きなマイナス。キングはG1とは名ばかりの高松宮記念を勝っただけで、中央のG1では信頼できない。ブラックは去年のマイルCS時にはマイルが得意といわれていて、実際5-2-2-1で不安はないが、前走の走りでは、やはりちょっと長いかなという気がする。

残ったのはアドマイヤとフサイチである。アドマイヤはここ数戦見ているとまだ線の細い感じは否めない。しかし、武のアメリカ遠征の置き土産、レインボウクエストの成長力に期待したい。そして、フサイチの前走ばろ負けは、十分予期できたものだ。なぜ、牝馬が休み明けで快勝した後に中1週で使うのか？その疑問に調教師は、「京王杯では安田まで間隔が詰まることと、秋のエリザベスを睨んで、ここを使う」と答えていた。そして+8キロ。予定通りのローテーションを、太目の仕上げで勝つつもりなく使ったと判断したい。1600では牝馬相手でも十分やれることはシンザン記念、ダービー卿のレース振りから実証済み。

本当はフサイチから広く流しても良いが、アドマイヤの騎手と血に予想できない魅力を感じた。そして相手も、1番人気スティンガーを挙げてもしょうがない。なら、絞ろうということで2頭軸でいく。相手はデットーリへの乗り替わりがやっぱりプラスのディクタット。スプリンターズSの勝ち方が見事だったため、一躍スプリンターと見なされたが、マイルCSの時の世評、実績はマイラーだった。ここも乗り方ひとつだろう。また、嵌らなければ…という馬だが、実際中央G1での連対もあるキングまで。

◎…フサイチエアデール アドマイヤカイザー

△…ディクタット、ブラックホーク、キングヘイロー

せっかくの中京だったが、雨に祟れて馬券もあたらず散々だった。中京競馬場は建物が縦に短くて、とて

も狭い感じがした。また、全部が新しくなったわけではなく、なんとなく昔の東京競馬場、大井競馬場に近いイメージだった。2,3階にいと外に出ずらい感じもいまいち。あまり好きな競馬場じゃない。レースも中央の検討があまり通用しないし、短距離の多頭数が多いこともあって、今後は手を出さないことにしよう。現在の回収率89.5%

予想はウソヨ 四国の井崎

ダービーは非常に見応えのあるいいレースでした。

さて今週は安田記念ですが、グラスワンダーの名前がないのは寂しい限りです。今回は最近では一番低いレベルではないでしょうか。したがって穴気配がプンプンしてきます。

それではタイム評価から。芝で黒字は5頭だけです。

	3走前	2走前	前走		2000m連対	京王杯
ブラックホーク	+0.2	-0.1	-0.3	A	◎	◎
フサイチエアデール	-3.9	+0.2	-0.3	B	◎	
アドマイヤカイザー	+0.0	-0.6	-0.4	C		
スティンガー	-3.0	-0.6	+0.0	上昇	◎	◎
キングヘイロー	-1.4d	+0.0	-1.0		◎	◎

府中マイルはスプリンターではこなせません。私は2000mの連対実績を重視してきましたが、昨年の回顧録を紐解けばこうなります。

「安田記念は完全に京王杯を使うローテーションがいいのがはっきりした。NHKマイルのトライアルNZTと同じだ。近代東京マイル戦は昔と傾向が少し変わりつつあるような気がする。」

今年のNZTは中山1600mに変わってしまったのですが、やはり1,2着はトライアル組でした。今年は除外馬続出だった京王杯でしたがこれを使った馬がいいことになります。

以上を総合しますと面白味はないですがブラックホークが本命となります。ブラックホークは筋肉モリモリの短距離馬の身体になってしまった印象を前回受けたのですが、4歳時に駒草賞を2分1秒6でハナ差の2着。今年の駒草賞ではその名前を思い出せよ！とブラックジーンズが強い競馬で2着に残りました。京王杯は59kgを背負っていたことを思えば今回マイルでも大丈夫のような気がしてきました。

当初はスティンガー◎のつもりでしたがカッチー乗り替わりはあまりにマイナス。キングヘイローは13番から外へ入らないとダメですね。馬込みを割ることが出来ない不器用な馬なので大外ブン回ししかありません。昨年のタイム評価は今年よりもっと良かった(+0.1, +0.5, -0.1でA評価)のに、惨敗(11着)していることを思えば買いにくい馬としか言いようがありません。

おもしろいのはフサイチエアデールでしょう。今年は6歳牡馬と5歳牝馬が世代的に強いと思っていますが、強い5歳牝馬の1頭。ダービー卿はものすごく強い勝ち方でビックリしました。スティンガーとはそれほど差はないと思います。アドマイヤカイザーは2000m実績、G1実績も無いのですが、出走できたことと武豊騎乗なので侮れません。

◎ ブラックホーク ○ フサイチエアデール ▲ スティンガー
△ キングヘイロー、アドマイヤカイザー

本紙争い経緯

	期 間	防衛週数	本紙名
初代	平成 7 年桜花賞～平成 8 年桜花賞	1 7	T P
二代目	平成 8 年皐月賞	1	へな
三代目	平成 8 年天皇賞・春～平成 8 年NHKマイル	2	四国の井崎
四代目	平成 8 年高松宮杯～平成 8 年ダービー	3	T P
五代目	平成 8 年安田記念～平成 8 年エリザベス女王杯	6	へな
六代目	平成 8 年マイルC S	1	トゥインクルダンディ
七代目	平成 8 年ジャパンカップ～平成 8 年朝日杯 3 歳 S	3	T P
八代目	平成 8 年スプリンターズ S～平成 9 年スプリンターズ S	2 1	トゥインクルダンディ
九代目	平成 9 年有馬記念～平成 10 年フェブラリー S	2	ドロンジョ
十代目	平成 10 年桜花賞～平成 10 年ジャパンカップ	1 5	T P
十一代目	平成 10 年阪神 3 歳牝馬 S～平成 12 年桜花賞	2 7	トゥインクルダンディ
十二代目	平成 12 年皐月賞～平成 12 年天皇賞春	2	ラッキー
十三代目	平成 12 年NHKマイルカップ～平成 12 年ダービー	3	へなりん
十四代目	平成 12 年安田記念～平成 12 年		ラッキー

第 5 0 回 安田記念

			18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番号
			マイネルマックス	エイシンルバーン	イーグルカフェ	トロットスター	レッドチリベツバー	ウメノファイバー	フェアリーキングブロン	オースミジェット	ディクタット	キングヘイロー	ブラックホーク	ロサード	ステインガー	シンボリインディ	エイシンルーデンス	フサイチエアデール	アドマイヤカイザー	ダイワカーリアン	馬 名
			勝浦	秋山	岡部	横山賀	藤田	後藤	フラッド	四位	デット	福永	横山典	高橋亮	田中勝	蛭名	野元	和田	武豊	北村宏	騎手
					△			◎			△		△		◎						ラッキー
					◎						◎		△		△				△		へなりん
							○	◎			△		▲		△	△					ライスシャワー
					◎			△			△		△		▲	△			○		トゥインクルダンディ
				○	▲		◎						△		△					△	心配御無用!
											△	△	△					◎	◎		T P
					◎		△	△				▲	△		○	△					洋二郎
							△	◎			◎				△			△			おけらくん
				▲			○		△		△	◎			△				△		ミスターX スーパースター
				△			◎		△			△	▲		○	△					

	優駿	安田	宝塚	秋華	天秋	菊花	エリザベス	マイルC	JC	阪牝	朝日	スプリ	有馬	フェアリー	高松	桜花	皐月	天春	NHKマイル	オークス	優駿
ラッキー	○		○				○	☆	○				○					○	○		○
へなりん	○	○	○				○		○				○	○				○	○		○
ライスシャワー	○	○	○				○					○	○					○	○		○
トゥインクルダンディ	○	○	○				○					○	○					○	○		○
心配御無用!	○		○				○		○			○		○				○	○		○
T P			○	○								○						○	○		○
FELA	○	○	○				○		○				○								
洋二郎			○	○			○						○					○	○		
おけらくん	○	○	○				○						○					○			
ミスターX			○	○					○									○			○
ドロンジョ	○						○								○						
スーパースター																○	☆				
YO	○																				

○…～20倍 ◎…20～50倍 ☆…50倍～

次号は宝塚記念号です。